

平成27年度 第3回 理事会議事録

日 時 平成27年12月12日（土）15時00分～16時15分
場 所 道立体育センター大研修室
出席者 近藤龍夫、嶋倉 昭、紺屋正雄、生島典明
渋谷研一、大江憲一、黒田謙二、須田正毅
田中昌幸、丸山道博、印藤智一、櫻庭功一
春間好実、佐藤敏夫、高橋克徳、関原榮司
志手典之、山内孝夫、中川裕行、奈良孝伸
福原英典、武田和夫、大橋公徳、川村俊明
高坂 猛

<公益財団法人日本バレーボール協会功労者表彰>

○開会前に、関原榮司氏（理事・千歳協会理事長）へ近藤会長から表彰状が伝達された。

1 開 会

- ・生島副会長からあいさつがある。
- ・総務委員長から理事30名中23名の出席があり、理事会は成立するこが報告される。

2 会長あいさつ

年末のお忙しい中、本日の理事会に出席いただきお礼。功労者表彰を受けた関原理事には心からお祝いを申し上げる。

先月、高校選手権北海道体表決定戦が北海きたえーるで行われた。全国大会での男女各2校の活躍を期待している。

今日の理事会は27年度の折り返しで各種事業の報告があるが、来年度に向けて議論を深めていただきたい。

3 議事録署名人の選出

- ・近藤会長が議長を務め、議事録署名人に志手理事、丸山常任理事の2名を指名する。

4 報告事項

(1) 平成27年度前期事業実施状況について

- ・各委員長から次のとおり報告された。

○総務委員会

- ・各種会議、財政等検討委員会、倫理委員会の開催状況を報告。
- ・MRSの登録状況はチーム数がマイナスだが登録者数は増加している。
- ・ホームページ及びMRSの管理運営業務は競技委員会へ移管した。

○競技委員会

- ・クラブカップ女子全国大会は48チームの参加があり成功裏に終了した。
- ・高校選手権北海道代表決定戦に男女91チームが参加し代表男女各2チームが決定した。

○審判委員会

- ・ 日A級審査会に笹木氏・上総氏（札幌）、唯野氏（帯広）が参加し、9/1付けて唯野氏がA級に、2名はA級候補に認定された。
- ・ 日本協会名誉審判員に福原氏（釧路協会）を推薦することとし、道協会名誉審判員に山田伸二氏、眞山清氏（函館協会）、沢座旭氏（札幌協会）を決定した。
- ・ 日本バレーボール協会B級審判員に10人認定した。

○強化委員会

- ・ JOCカップ男女選抜は練習を重ねており、本日壮行会を行う。
- ・ 国体少年選抜は男女とも1・2回戦敗退したことを報告した。

○指導委員会

- ・ ジュニアキャンプの参加者が約100名増加し4,500名程になっていることを報告した。

(2) 平成27年度 一般会計執行状況について

- ・ 総務委員長からH26繰越金が784,083円あり、収入は全体として予算を上回し、支出は予算の範囲内で執行するため収支均衡が図られる見込みであることが報告された。

5 協議事項

(1) 平成28年度 全道大会開催地について

- ・ 競技委員長が配布資料に基づき次のとおり説明した。
～国体成年の日程とマスターズを別日程にした。天皇杯・皇后杯ブロックラウンドは10月末開催で美唄協会と調整中。9人制総合大会の日程は北見協会と調整する。
年次別一覧で函館協会のH28にヴィンテージ8を追加。高校新人大会のH29は釧路協会で、閉会式はコート表彰する。総合6人北大会のH29は帯広協会となる。その他大会も多くの協会で開催できるよう協力をお願いする。

<意見等>

○高橋理事～社会人予選会と総合6人南大会の日程が重複しているので調整が必要。

→両大会の日程を調整する。

※全体日程は確認される。

6 その他

(1) 財政等検討委員会からの中間報告

- ・ 志手委員長から、6/20以降3回開催された会議における検討内容と今後の方向性について報告書により説明があった。

<意見等>

○近藤会長～報告書に基づき理事の要望も得ながら進めてほしい。基本は、青少年の育成を軸にスポーツ振興で北海道を盛り上げていくことになる。札幌市長もそのような考えを持っているので有効な財源を仲間同士で作っていくべき。私共が何を目指しているのか？目標・ロジックが無いとお金のお願いが出来ないのでその提言も必要である。

○嶋倉副会長～経費の削減のみに陥らず、財源確保を積極的にすべき。例えばホクレンと道体協が進めているスポーツ応援米の活用や、ANAや旅行会社と提携するなどのスポンサ

一確保、スポンサー大会など財源確保策も検討してほしい。

○大橋理事～賦課金と助成金の見直しは旧加盟団体と十分検討してほしい。

(2) 倫理規定に基づく処分決定報告

・渋谷理事長から、道協会に対し倫理規定に基づく調査と処分を求める連絡があり、倫理委員会は委員会を開催して当事者から事情聴取を行い、その上でフェアプレーの精神に反する行為と認定し、当該顧問の道コーチ資格に基づく3ヶ月間の活動停止処分を決定した。これを受け11/20付で本人に通知したほか、道協会HPにも掲示したことを報告。

また、倫理委員会から合同チーム編成のあり方に関する意見が付記されたことから、高体連専門部長から道高体連にその旨を伝えたことが報告された。

(3) 日本バレーボール協会報告

・渋谷理事長から、日本協会は財政難のため来年度より全国大会交付金を250万円から200万円に削減することを検討中で、来年の社会人大会にも影響することが報告された。

また、H28のVプレミア男子の道内開催は希望が無いため返上をするが、再来年は女子の枠があるため希望協会を求める。なお、Vプレミア男子は10数年ぶりに観客数が伸びていることが報告された。

(4) その他

①ヤングクラブ連盟

・紺屋副会長（ヤング連理事長）から、平成27年度北海道ヤングクラブバレーボール連盟現状報告書が配布され、登録チーム数は15、登録者数は170名で、バレーボール教室の実施やU-14北海道ブロック大会、第3回櫻田義人杯北海道ヤングクラブ交流大会を実施していることなどが報告された。

②Vプレミアリーグ

・佐藤理事から、12/5～6に開催されたVプレミア女子函館大会は両日とも2,200人程の観客数で成功裏に終了し、現在決算を進めていることが報告された。

・嶋倉副会長から、道協会は落成した体育館に時計を贈っているが、アリーナ正面に名前入りで掛けられていることが報告された。

6 閉会

【次回：3月12日（土）北海きたえーる】

議事録署名人

会長

近藤 龍夫(サトウ リョウフウ)

議事録署名人

志手 典之(シタ デンジ)



議事録署名人

丸山 道博(マルヤマ ナオキ)